

平成十九年十一月二十五日号

金子商会はお客様に「三ツ

ゼロを提案

・在庫コスト ゼロ

・現場待ち時間 ゼロ

・現場の不満 ゼロ

営業時間 祭日も営業中!

月曜日～土曜日 朝八時～夕方五時

祭日 朝八時～十二時

(祭日の配達業務は行っておりません)

日曜日は休業日とさせていただきます。

船場吉兆や

ミートホープ

姉齒設計に学ぶ

『信頼』『信用』といったら、

あなたはどうしますか?

船場吉兆の事件

商売は信用は当然として信頼を売るもの、信用は信じて用いること、信頼は信じられて頼られるということ

船場吉兆の事件

大阪の料亭「船場吉兆」が、販売用の牛肉の加工品だけでなく、二つの店で産地を偽った牛肉を使った料理を客に提供していたことがわかりました。

まず、「信用」という意味を考えてみます。文字をそのまま通り受け取ると「信じて用いる」になります。

信じるために必要だと思われる二つの客観的根拠として、信じるに値すると判断できる、対象との直接的経験、そして、自分自身の経験から「常識」であるとか「当たり前」と思っているものが重要です。

次に、「信頼」を考えてみます。こちらは「信じて頼(たよ)る」ということです。信頼するための条件は、信じる対象に好意的であること

「信用」に比べると、感情的で、一方的であり、客観的根拠に乏しい気もします。信頼は裏切られるリスクがあ

るということでしょうか?

さらにもう一つの段階として、信仰というのがあります。

こちらは「信じて仰ぐ」という、ことですね。信仰ですから全面的に預けてしまい、例えば間違いがあっても、それすらも許してしまう状態です。

さて、船場吉兆のホームページでは「弊社が失った信頼を1日も早く回復できるよう」と謝罪文がありますが、実際には信頼だけでなく信用も失ってしまっているのではないかと思います。

このあたりの文字の選び方にも企業としての姿勢が表れているような気がします。

信頼関係の修復はまだできるかも知れませんが、信用を失うとお終いです。回復は相当困難であると思います。

コンプライアンスと正直さ 金子商会の経営理念と社訓

金子商会も経営理念というものを、平成十二年につくりました(それ以前は策定していませんでした) 稚拙ながら以下のようなものです。

株式会社金子商会経営理念

私たちが株式会社金子商会は「快適を暮らしは快適な現場作業から生まれる」をモットーに

社会的・地域的に価値のある集団を目指す

お客様に對して環境に配慮した商品の提供とサービスを追求します

社訓

顧客サービスのより一層の充実を目指し、

いまずぐ金子商会

(キメ細かい物流サービスのご提供)

やくだつ金子商会

(必要十分な品揃えのご提供)

たよれる金子商会

(商品知識と豊富な情報による提案とサービスの提供)

を、三つの柱として

業務を推進していきます。

明記はしていませんが、つねに、最終的なサービスの利用者として、「お施主様」を念頭に置いていることを前提としています。

最終的にサービスを利用したいただくお客様(実際に家に住んだり施設を利用される方、エンドユーザーという言い方をすることもありますが)を裏切っていないか?喜んでいただけるかを考えて、日々営業していくことを目指していきたいと考えております。

まだまだ、日々勉強、日々研鑽、凡事徹底を痛感し、反省の毎日です。不足・不勉強な部分もまだまだ数多くあります、ご指導ご鞭撻のほどどうぞ宜しくお願いいたします。

より信頼性の高い

サービス・商品の提供を目指して

その一つとして、金子商会では、プッシュロック(モリブデン配管)の代わりに、エスロカチットとエスロメタッチを利用した工法をお勧めしています。

理由は当社の基準と照らし合わせてみて、お客様には、より信頼性のあるものを使用していただきたいとの想いがあるからです。

プッシュロックを利用したポリブテン配管工法は、下関地区では一般的な給水配管であり、当社としても十年以上取扱いをしてまいりました。

商品的に問題があると断言するわけではありません。正しい施工方法を行えば、十分に信頼できる工法であると思えます。

しかしながら、会社として、自分が信頼できる商品を販売していきたいと考えております。(もちろん架橋ポリエチレン管が本当に優れているのかどうか証明しろと言われても、むづかしいのですし、プッシュロックも確かにいい商品だと思えます。)

給水給湯用はエスロカチット エコキュート用はエスロメタッチ

給湯・給水用の配管継手→ エスロカチット 架橋ポリエチレン管のエスロボックスです。 1巻は50メートル

エコキュート用の配管継手→ エスロメタッチ アルミ層のある金属架橋ポリエチレン管になります。 名称はエスロメタックスEC 1巻は25メートルです。

メーカーは積水化学です。

しかし、実際にプッシュロックを使用した現場で過去三件ほど、漏水事後が発生したということがあったり、継手のモデルチェンジが三度あったというところ、架橋ポリエチレン管との性能の違いなどを考慮しました。

ヒールポン用配管は エスロメタックスと エスロメタッチ

と覚えてください。

金子商会としては、どちらの商品をより信頼できるかをかんがえています。

どちらの商品をお勧めするべきかを考えて、このような決心をしました。

それは正直だろうか?

お客様を裏切っていないだろうか?

つねに自分自身にとそつ問いかけることを忘れずにいたいと思えます。

エスロボックスとプッシュロックの違い

	エスロボックス	プッシュロック
素材	架橋ポリエチレン	架橋ポリブデン
耐熱温度	95度	70度を超える使用は原則不可
使用圧力	1.5Mpa (0度~20度) 0.65Mpa (91度~95度)	1.4Mpa (5度~30度) 0.4Mpa (91度~95度)

ご存知ですか? ★エコキュートには エスロメタックスEC

コロナ・長府製作所・ナショナルなどのエコキュート用純正配管資材として、エスロメタックスECは正式に指定されています。銅配管よりもスピーディー・確実に施工ができます。

常務の金子に 第一子誕生 金子遼太郎くん

と覚えてください。

十一月十六日に当社常務金子に第一子が誕生しました。

「父親になりましたので、これからは仕事にないっそう取り組んで参ります。」(金子義治)

のんびり日記

今年も早いものであと一月ほどになりました。だんだん寒くなってきましたね。まちは、クリスマスイルミネーションが光って、年末気分が拍車がかかります。

年末に向けて修繕や修理のごまごまとした現場も増えてまいります。またバタバタしているときに、急ぐ仕事も飛込みがちです。こんなときこそあわてず段取りよく仕事をこなしていかなければと思っております。

先日、来年度の手帳を購入しました。平成二十一年の四月までの日付があるものです。

来年の催し物としては、八月に北京オリンピック、十一月にはアメリカ合衆国の大統領選挙などがあります。どちらも直接関係があるものではないかもしれませんが、ニュースや新聞をにぎわせることでしょうか。

それにしても建築基準法の改正の影響で、新築戸建件数が激減という報道がなされています。

そのためか、現場も少なく、お客様からの不安な声も多いです。報道では、十一月から申請の停滞も解消され以前の基準にもどるような話ですが、実際は、そんなことはないと思います。

個人的な見解ですが、まだまだ住宅市場をはじめ建築のマーケットは縮小していくと思えます。

最悪のシナリオとしては、あと五年もすれば、今の半分程度の市場が当たり前になるような気がします。(つまり売上は四分の一くらいまで落ち込むかもしれません)

今後、年商が今の半分になってもやっつけていけるような会社のしくみにしないと厳しい気がします。あるいはこれ以上売上が減らないようにするとか、徹底的にコストを見直してより体制を強化していきたいと思えます。やることはたくさんあります。がんばらなくては。

金子商会代表 金子義亮